

Monthly Report

- I. キャンプ安全の日 7 月 15 日(日)
- II. キャンプディレクター養成講習会
- III. 新規課程認定団体 (B 団体)
- IV. 環境 goo 『キャンプの恵み』
 - ・ 都道府県キャンプ協会事務局担当者みなさまへ
 - ・ NCAJ CALENDAR
 - ・ TOPICS

先日、東京 YWCA 主催「奉仕は社会を変える～ヴォーリズの働きに学ぶ～」という講演を聞きに行きました。日本ではむしろ建築家としてのほうが有名なヴォーリズですが、ここでは社会起業家としての働きについてじっくりお話をうかがうことができました。彼は英語教師として赴任した近江八幡に、教師の職を解かれてからもとどまり、彼の宗教的信念に従って、病院や学校、図書館など「街が街であるために必要な施設」を作り、保つために全身全霊を傾けました。その資金稼ぎとして行われたのが建築の仕事やメンソレータムの販売などの多彩な企業活動だったのです。

多くの人が共感するミッションが多くのよき理解者を引きつけ、営利事業を成功させ、(非営利の)ミッションの実現を後押しする。そんな循環が確かに機能していたようです。これは明治後期から第二次世界大戦後までの、今とはまったく社会情勢も異なる時代の話ですが、それでも非営利組織の運営に携わるものとして学ぶべきところの多いものでした。

事務局長 金山竜也

都道府県キャンプ協会事務局担当者みなさまへ：県協会内での情報共有を図るため、協会役員の方々への転送をお願いいたします。

I. キャンプ安全の日 7 月 15 日(日)

日本キャンプ協会では、7 月第 3 日曜日を「キャンプ安全の日」と定めていますが、そのきっかけとなったのは 1999 年 8 月に神奈川県の大井町(くろくらがわ)で起きた事故でした。それは、河原でキャンプをしていた 18 人が大雨で増水した川に流され、13 人が亡くなるという痛ましいものです。

私たちが「危険」と呼んでいるものには「リスク (Risk)」と「デンジャー (Danger)」の 2 種類があります。リスクは「コントロールできる危険」で、デンジャーは「コントロールできない危険(偶発的で不可避な危険)」を意味します。この事故に関しては、大雨で川が増水する可能性があることを勘案して、河原でのキャンプを中止していれば防ぐことができた「リスク」による事故でした。リスクが「コントロールできる危険」であれば、「コントロールすべきだった」と言うこともできるでしょう。しかし、事故というのは当事者にとってみれば、突然に、思いがけず起こるものです。この事故で被害に遭われた方々を軽々に批判することはできません。

ただ、それでも安全は大切で、リスクに対する備えを忘れるわけにはいきません。それは、事故は突然に、思いがけず起こり、被害に遭った方のまわりの方々に大きな悲しみを与えてしまうからです。私たちは無意識のうちに、「今日とさして変わらない明日」が来ることを前提にして毎日を過ごしています。ですから、思いがけない喪失は、大きな衝撃となることが多いのです。

リスクと対峙したときに「これはまずいぞ…」と気付ける感覚は、リスクと向き合い、経験的に学ぶことでしか育たないものなのだと思います。教室の中の安全教育だけでは不十分で、キャンプなどの体験もすることによって、初めて身につけることができるのでしょう。

冒険という言葉が「危険を冒す」という意味である以上、どうしても矛盾したような言い方になってしまっていますが、どうか安全に心を配って冒険し、多くの子どもたちに貴重な体験を提供していただきたいと思います。



Ⅱ. キャンプディレクター養成講習会

キャンプディレクター1 級・2 級養成講習会の受講者を募集中です。周囲にステップアップを目指す指導者会員がおられましたら、ぜひ参加を呼びかけていただくようお願いいたします。

キャンプディレクター2 級(PD)

会場	日程	申込締切	受講料
秋田	8/17-19	7/27	35,000 円
広島	10/6-8	9/7	36,000 円

キャンプディレクター2 級(MD)

会場	日程	申込締切	受講料
東京	2/16-17	1/25	18,000 円

キャンプディレクター1 級

会場	日程	申込締切	受講料
静岡	11/22-25	10/26	46,000 円

- ・ コースごとに受講要件が設定されています。
- ・ PD コースは県協会主催で実施されます。
- ・ 各会場ともに最少催行人数・定員が設定されています。
- ・ ディレクター1 級検定会(1/19-20)は受検対象者に別途ご案内します。

詳細は開催要項をご覧ください。

www.camping.or.jp/2012CD.pdf

PD 秋田会場

www.camping.or.jp/2012PDakita.pdf

PD 広島会場

www.camping.or.jp/2012PDhiroshima.pdf

Ⅲ. 新規課程認定団体(B団体)

新たに4校が、課程認定団体(B団体)になりました。よろしくお願いいたします。

学校名	都道府県
東京国際大学	埼玉県
精華女子短期大学	福岡県
大原スポーツ公務員専門学校 宇都宮校	栃木県
東京家政大学 児童教育学科	東京都

Ⅳ. 環境 goo で連載『キャンプの恵み』を担当しています

NTT レゾナントが運営するポータルサイト「環境 goo」で、『キャンプの恵み』という連載を担当しています。グリーンキャンプをはじめとするさまざまな対象のキャンプを紹介したり、キャンプを構成する要素に注目してみたりすることを通じて、キャンプと社会の関わりを考える機会になればと思っています。

2 週間に1 度のペースで更新しておりますので、お読みください。

環境 goo 『キャンプの恵み』 <http://eco.goo.ne.jp/nature/outdoor/camp/column/>

キャンプの安全標語 募集中!! ~キャンプの安全について考えよう~

日本キャンプ協会ではより安全で楽しいキャンプの普及を願い、毎年7月第3日曜日(今年は7月15日)をキャンプ安全の日と定めています。それに合わせて、今年もキャンプの安全標語を募集します。

実体験から学んだ教訓、覚えておくに役立つ安全の知識など、この機会に「キャンプの安全」について考えてみませんか?みなさんの考える「キャンプの安全」を教えてください。入賞作品には副賞もあります!たくさんのご応募お待ちしております。

応募締切 8月10日(金)必着

選考 日本キャンプ協会では選考し、結果は8月31日(金)に発表します。最優秀作品、優秀作品を選考し、最優秀・優秀作品には副賞(アウトドア用品)を贈呈します。なお、最優秀作品は平成25年度の会員証に掲載します。

※ 入賞作品の著作権は日本キャンプ協会に帰属し、日本キャンプ協会の作成する発行物等あるいは関連団体と実施するキャンペーンで利用されることがあります。



WEB 応募フォーム <http://goo.gl/ck2vO>

BUC や各種研修等は日本キャンプ協会 WEB サイト内「イベントカレンダー」でもご紹介しています。

各都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ

キャンプ指導者資格特別認定について

都道府県キャンプ協会の運営体制強化を目的とした「キャンプ指導者資格特別認定」の申請を現在、受け付けています。最終締切は9月末ですが、認定は毎月末締めで行いますので、お早めにお送りください。

申請様式は5月27日(日)の都道府県キャンプ協会指導者研修会で配布していますが、さらに必要な場合は日本キャンプ協会事務局へご請求ください。また、都道府県キャンプ協会ポータルサイトに、エクセル形式の申請書を置いていますので、こちらをあわせてご利用ください。

アルペンザルツ・サンプル提供について

今年度もSKW イーストアジア株式会社様より、アルペンザルツ(岩塩)等のサンプルのご提供をいただけることになりました。ご案内は6月8日に各協会あてにメール(*****@camping.or.jp)でお送りしています。ご希望がありましたら、6月30日までをめぐにお申し込みください。



加盟申込書・業務提携契約書等の提出をお願いします

すでに多くの都道府県キャンプ協会にご提出いただいておりますが、「公益社団法人日本キャンプ協会加盟申込書」および「業務提携契約書」の提出がまだお済みでないところは、各協会での手続きが終わり次第お早めにご提出ください。

都道府県キャンプ協会会費の代理徴収をはじめとするサービスを従来通り提供するために必要な書類ですので、遅くとも10月ころまでにはご提出ください。

CAMPING AWARD の推薦について

CAMPING AWARD の推薦については5月末締切でご案内していましたが、9月末まで受付を延長します。推薦の予定をされていて、まだご提出でないところがありましたら、お早めにご提出ください。授賞式は3月を予定しています。

NCAJ CALENDAR

これまで

5/31	CONE 理事会・総会	@青少年総合センター 出席者：金山
6/1	CAMPING 147 号 発行	特集「衛生」
6/1	メールマガジン CAMPING News vol.52 発行	
6/6	日本キャンプ協会事務局ミーティング	
6/12	平成 24 年度アウトドアチャレンジ運営協議会	@スカウト会館 出席者：金山
6/15	CONE 安全委員会	@青少年総合センター 出席者：金山
6/18	平成 24 年度体験の風をおこそう運動推進委員会(第 1 回)	@青少年総合センター 出席者：金山
6/18	平成 24 年度第 2 回 CAMPING 編集会議	149 号内容検討
6/22	メールマガジン CAMPING News vol.53 発行	

これから

6/27	日本キャンプ協会事務局ミーティング	
7/4	平成 24 年第 3 回常務会	委員会制度・広域事業等の検討
7/9	平成 24 年度第 3 回 CAMPING 編集会議	150 号内容検討
7/13	メールマガジン CAMPING News vol.54 発行	
7/15	キャンプ安全の日	
7/18	平成 24 年度出会いと体験の森へ実行委員会(第 5 回)	@スカウト会館 出席者：金山・幾田
7/22	平成 24 年度第 2 回近畿ブロック事務局会議	@アパホテル大阪肥後橋駅前

TOPICS

10月「体験の風をおこそう」運動推進月間です

青少年の体験活動を推進する団体によって進められている「体験の風をおこそう」運動（事務局：国立青少年教育振興機構 総務企画課）は、10月を推進月間と定めて、子どものための体験活動に関するさまざまな事業を実施します。特に10月27日（土）を事業統一実施日として、全国各地で子どものための体験活動のイベント実施を呼びかけています。

この期間に体験活動のイベントを計画されている団体などがありましたら、ぜひエントリーください。

1. 推進月間事業／子ども体験遊びリンピックへのエントリー

推進月間中に各団体で実施する事業をエントリーしてください。また、その事業内で「子ども体験遊びリンピック」（競技性のある体験活動のプログラム）を実施する場合、エントリーをすることで、「のぼり旗」「メダル・賞状3セット」「シール」の提供を受けることができます。「子ども体験遊びリンピック」へのエントリー締切は10月20日です。

詳細はこちら <http://www.niye.go.jp/taikennokaze/>

2. 「子どもゆめ基金」助成

子どもゆめ基金では、「体験の風をおこそう」運動をより推進するため、その推進月間である10月以降（平成24年度中）に実施する子どもを対象に行う活動に対し、助成活動の二次募集を行います。

締切：6月29日（金）当日消印有効

詳細はこちら http://yumekikin.niye.go.jp/pdf/taiken_setumei.pdf

アメリカキャンプ協会

The CAMP LINE (キャンプ・ライン)

The CAMP LINE はアメリカキャンプ協会が発行する、リスクマネジメント、危機管理の情報誌（PDF がダウンロードできます）です。単に事故やケガを防ぐといったことだけでなく、いじめや性的虐待などの問題を含む、キャンパーとキャンプを守るための情報が掲載されています。

この冊子は年3回発行されており、「Archive（アーカイブ）」から過去の発行分も読むことができます。

<http://www.acacamps.org/campline/spring-2012>



求人情報 埼玉県青少年総合野外活動センター短期パート職員募集 (株)小学館集英社プロダクション

埼玉県青少年総合野外活動センターでは、短期パート職員1名を募集します。「自然」と「人」が好きなスタッフと一緒に働きませんか。

対象：22歳以上・高卒以上・普通運転免許（MTに乗れるとなおよい）・パソコンが使えること

期間：2012年6月～11月

勤務地：埼玉県青少年総合野外活動センター（埼玉県秩父市）

待遇：時給950円（交通費・宿直手当別途）

応募：電話で問合せの上、履歴書を送付

連絡先：0494-24-1463（担当：所長 廣川）

詳細はこちら <http://yakatu.shoppro.co.jp/>



公益社団法人日本キャンプ協会 Monthly Report vol.3 2012/06/25

発行者：公益社団法人日本キャンプ協会 事務局長 金山竜也

お問い合わせ・電話：03-3469-0217

e-mail: ncaj@camping.or.jp



Monthly Report vol.4 は7月25日（水）の発行を予定しています